



平成16年(2004年)3月1日

箕面市長 梶田 功 殿

箕面市保健医療福祉総合審議会
会長 多田 羅 浩 三



地域保健及び地域福祉施策について(答申)

平成14年5月30日付け箕健政第35号をもって市長から諮問のありました「地域保健及び地域福祉施策について」のうち、「現行『箕面市障害者市民の長期計画(みのお‘N’プラン)』の進捗と評価」、「障害者(児)福祉サービスの需要と供給について」、「障害者(児)福祉サービスの基盤整備の方向性について」及び「障害者(児)保健福祉施策の今後の展開について」の4項目に関し、本審議会において慎重に調査・審議いたしました結果、別添「箕面市障害者市民の長期計画(みのお‘N’プラン)の実施状況、成果及び今後の課題について」、「第2次箕面市障害者市民の長期計画(みのお‘N’プラン)基本計画(案)」及び「第2次箕面市障害者市民の長期計画(みのお‘N’プラン)前期5か年事業計画骨子」としてとりまとめましたので答申いたします。

なお、上記項目に関する調査・審議結果と関連し、附帯意見として以下のとおり申し述べいたします。

【附帯意見】

障害者市民の生活は、福祉、保健、医療、教育、労働、生活環境などあらゆる分野に関わっている。従って、第四次箕面市総合計画第二期実施計画をはじめ、今後、箕面市において策定を予定する関連計画については、本計画との整合を十分に図られたい。

特に、次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、介護保険制度の抜本的見直しの動向を見極めながら、高齢の障害者市民に関する施策について、十分に検討されたい。